

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jacar.go.jp>

概々新倉鎮衛前鎮間ノ地區ニ到着シ當面ノ敵情搜索
 結果四里橋以南獨山ニ至リ相當堅固ニ設備セル約
 五六中隊ノ敵兵陣地ヲ占領シアルヲ知リ主力ヲ以テ
 四里橋北方ヨリ迂回シ速ニ平湖東北方地區ニ進出ス
 ルニ決シ同日午後三時部署ス
 秋山旅團ハ一部ヲ以テ砲兵隊主力協力ノ許ニ四里橋
 及趙家橋鎮ノ敵ヲ攻撃スルト共ニ主力ハ十三日早朝
 三官堂附近ヨリ廣陳鎮ニ迂回シ步兵第六十六聯隊ヲ
 以テ北方地區ヨリ敵ノ側背ヲ攻撃セシメ步兵第一
 ニ聯隊ヲ以テ同日夕吉字圩ノ敵ノ側背ヲ攻撃セシム
 翌十四日步兵第一〇二聯隊第三大隊ヲ以テ賤字圩附
 近ノ敵ヲ攻撃シ同地ヲ占領ス
 師團主力ハ秋山旅團ノ進路方面ヨリ速ニ平湖方面ニ
 前進スルニ決シ十三日午後四時頃出発先ツ四里橋ニ
 向ヒシモ同地ノ攻略虚報ニシテ其ノ抵抗頑強ナリシ
 爲メ興旅團ヲシテ北方ニ迂回セシメ師團司令部ハ步
 兵二大隊ト共ニ十四日午後二時新倉鎮ヲ出發シ三官

0328

堂ヲ經テ吉字圩ニ向ヒ前進ヲ開始シ十五日夕奧旅團
 主力及師團ヲ予備隊ヲ以テ廣陳鎮北方地区ニ開進シ爾
 後ノ前進ノ準備ヲ爲ス
 二、師團楓涇鎮方面轉進ヨリ南潯鎮ニ至ル間
 十六日師團ハ紅廟頭方面ヨリ敵ノ薄弱ナル平湖北方
 グリ一ツ地帯ニ渡河スルニ決シ部署セシカ午七時
 主カヲ以テ楓涇鎮ヲ經テ嘉興ニ向ヒ前進スヘキ軍命
 令ニ接シ新ニ部署セリ即チ秋山旅團ハ最初楓涇鎮經
 由ノ予定ナリシモ其ノ意見具申ニ依リ平湖ニ直進シ
 同方面ヨリ嘉興ニ向ハシメ主力ハ楓涇鎮ヲ經テ嘉興
 ニ向ハシム
 期クテ師團ハ僅少ナル殘敵ノ妨害ノ外殆ト敵ノ抵抗
 ヲ受クルコトナク
 十九日相前後シテ嘉興ニ入城セリ
 二十日師團ハ新陳鎮ヨリ道路ナキヲ知リ第十八師團ト
 セシカ途中新陳鎮ヨリ道路ナキヲ知リ第十八師團ト
 協定ノ結果先頭師團トナリ平望鎮ヲ經テ湖州ニ向ヒ

前進スルニ決シ同日夜平望鎮ニ宿營ス
 二十一日早朝平望鎮發途中國崎支隊カ南潯鎮西方地
 區ニ於テ敵ト交戦中ナルヲ知り先遣隊ヲ急行セシメ
 戦斗ニ協力セシムルノ部署ヲ爲シ同日夕南潯鎮ニ宿
 營ス
 其二湖州附近ノ戦斗ヨリ長興ニ進入迄戦闘經過一覽圖其
 ニ参照
 二十二日師團ハ國崎支隊カ界山市附近ニ於テ敵ト戦
 斗中ナルノ情報ニ接シ早朝南潯鎮出發湖州ニ向ヒ前
 進シ
 我先遣隊ヨシテ國崎支隊ノ戦闘ニ協力セシム
 斯クテ午後三時頃師團主力ハ晟舍鎮ニ達セシカ國崎
 支隊ノ戦斗未タ進捗シアラサルヲ知り直路界山市ニ
 向ヒ前進シ同地ニ於テ夜ヲ徹ス
 同夜師團ハ國崎支隊ト協定軍參謀ノ指示ニ基キ二十
 三日ヨリ一部ヲ以テ本道方面ヨリ主力ヲ以テ湖州北
 方地區ヨリ敵ノ北翼ヲ迂回スル如ク攻撃シテ敵ノ退

0330

路ヲ遮断スルニ決ス
 二日通過所ニ敵陣ヲ以テ八里店附近ヨリ攻撃ニシテ
 地帯ヲ通過所ニ敵陣ヲ以テ八里店附近ヨリ攻撃ニシテ
 進シ同日夜崑山北地方區ニ於テ河幅約百ニ米ノ前
 リ一四日ヲ引續キ西進シ敵ノ抵抗ヲ排陳シ止メ後
 ニ十流ル、引續キ西進シ敵ノ抵抗ヲ排陳シ止メ後
 方ヲ流ル、引續キ西進シ敵ノ抵抗ヲ排陳シ止メ後
 二在リシ追撃砲機関銃ヲ有ス一河ノ後同河西方高地
 兵ノ守備シアル陣地ヲ包圍攻撃シ多ノ損害ヲ與ヘ
 之ヲ西北方ニ撃攘シタル後同夜半湖州西北無名ノ部
 落ニ於テ大休止ス
 二十五日午前二時師團主力ハ同地出發西進シ、午前
 十一時頃窰水橋ニ達シ同地戰鬥中、奧旅團ト合ス
 此間歩兵第六十六聯隊ノ一部ハ二十四日正午頃湖州
 城内ニ突入シ又奧旅團ノ一部モ午後三時頃突入シ奧
 旅團ノ主力ハ遂次湖州北方高地ニ陣地ヲ占領セル敵陣
 五日未窰水橋北方高地ニ陣地ヲ占領セル敵陣地前ニ

一、グ
 路スル所
 迷スル大
 路ニシテ
 加フルニ
 連日ノ雨
 爲部隊ト
 連絡ハ悉
 盡スル所
 非ラズ
 師團カ
 新倉鎮
 附近ヨリ
 平湖北
 方ニ
 行動ハ著
 シク困難
 ニシテ筆
 舌ノヨク
 第二所見

達ス
 二十五日
 奥旅團ハ
 主カヲ以
 テ未明ヨ
 リ釜水橋
 北方高
 地ニ陣地
 ヲ占領シ
 アリシ一
 大隊ノ敵
 ヲ攻撃シ
 午前九時
 頃ニ多大
 ノ損害ヲ
 興ヘテ同
 高地ヲ奪
 取シ
 師團主力
 ハ之ニ追
 及シ直ニ
 秋山旅團
 ノ主力ヲ
 シテ追
 撃戦斗ニ
 参加シ同
 地西北方
 隘路口兩
 側ノ高地
 ニ陣地
 ヲ占領セ
 ル約一隊
 ノ敵ヲ包
 圍攻撃セ
 ジメ多大
 ノ損
 害ヲ與ヘ
 タル後之
 ヲ撃退シ
 引續キ呂
 山東方山
 地ニ向
 ヒ追撃シ
 所在ニ敵
 ヲ撃破シ
 ツ、前進
 シテ夜ニ
 入リ更
 ニ追撃ヲ
 續行シ同
 夜午後十
 一時敵ノ
 虛ニ乗シ
 大ナル
 抵抗ヲ受
 クルコト
 ナク長興
 ニ進入シ
 同市ヲ占
 領セリ

16.

0332

ヲ不能ニシテ駄馬ヲモ通セス師團長以下徒歩ヲ以テ
連日前進スルノ已ムナキニ至レリ
行動ノ鈍重ナル一例ヲ擧クハ廣陣鎮西方地區ニ於
一日終始行動シ僅ニ二料ヲ前進シ得タルニ過キサ
カ如キ之ナリ

二、グリク地帯戰鬥ノ編制裝備及編組ニ就テ

- 一、馬ヲ用ヒ得ス
- 二、舟ヲ絶對必要トス
- 三、無線裝備ヲ充實スルヲ要ス有線ハ利用シ得ス
- 四、砲兵ノ利用不可能ナルヲ以テ迫撃砲的輕砲ヲ必
要トス

三、徒歩部隊ノ武裝ヲ爲シ得ル限り輕易ナラシムルノ考
案ヲ要ス

一、戰時武裝ハ負担量過重ニシテ戰鬥行動鈍重ナリ
一層輕量ナラシムル如ク考案スルヲ要ス

0.4

四、グリーク地帯の戦斗ニ於テハ局部的戦斗ナルヲ以テ重要ナル地区ノ占領ヲ要スル場合ハ單ニ迂回ノミニテハ効果ナク直接攻撃ヲ必要トス

五、敵地物資ノ利用上ノ注意

一、行軍ハ日没前ニ宿营地ニ入ル如クセサレハ物資利用至難ナリ從テ一日行程ハ自然減少ノ已ムナキニ至ルコト多カルヘシ

二、糧秣ハ利用シ得ル場合ニ於テモ調味品ノ補給ハ必要ナリ

三、馬糧ハ大麥ナキ場合ヲ顧慮シ之ヲ補俾又ハ大麥ノ后送補給ニ就テ考慮スルヲ要ス

六、對支戦法ノ若干ニ就テ

一、敵ハ至近巨離ニ於テ射撃シ且陣地ヲ最モ善ク遮蔽シアルヲ以テ搜索網ヲ濃密トシ且絶エス威力搜索ヲ必要アリ

0334

2. 村落ニ據ル敵陣地ノ攻撃ニ於テハ昼間攻撃ハ至難ナ
ルヲ以テ夜間ニ於テ強行的ニ突破スルヲ最モ容易ナ
ルモノトイフ思考セラル

七. 特設師團ニ就テ
出動前最小限ニ週間ノ訓練ヲ要ス
本師團ノ如ク待命期間全ク無キ爲訓練ヲ實施スルコ
トナクシテ出動セシヲ以テ部隊ノ團結充分ナラズ運
用上大ナル欠陥ヲ坐セリ
例ハハ上下ノ間顔ヲ知ラス上下相互ノ連絡不充分ナ
ルノミナラス中隊長以下幹部ノ指揮能力低劣ニシテ
戦力ノ指揮意ノ如クナラサルカ如シ

八. 後方関係
ノ現地物資ヲ利用スル場合ニ於テモ携帯口糧乙ハ遺
藏ナク補給スルノ要アリ
現地物資ハ之カ蒐集調理ニ時間ヲ要スルヲ以テ戦

No.5

斗ハ勿論迅速ヲ要スル追撃ニ方リテハセカ利用ヲ
 期待シ得ス
 之ニ基ク給養ノ不便不足ハ直ニ戦斗力追撃力ニ大
 ナル影響ヲスルニ至ルコト言フ俟ス
 2. 現地物資ヲ利用スル場合ニ於テモ調味品ハ補給ス
 ルヲ可トス
 現地任來ノ調味品ハソノ量僅少ニシテ部隊ノ需要
 ニ應シ難ムレハナリ
 3. 後方機関ヲ省略スル場合ニ於テモ少クモ事務用消
 耗品ハ携行スルヲ要ス
 今回ハ一切ノ行李ヲ携行シ得サルノ止ナキ状態ニ
 至リシタメ事務用消耗品不足シ勤務ニ著シク不便
 ヲ來タセリ
 4. 本戦場ノ如キ地域ノ作戦ニ於テハ工兵隊ノ兵力ヲ
 増加スルト共ニナルヘク多クノ舟艇ヲ配属スルヲ
 要ス
 道路著シク不良ニシテ良好ナル水路多キニ鑑ミナ

0336

シ得ル限リ三等水路ヲ利用スルタメ多数ノ舟艇ヲ必要トスルト共ニ之ヲ運航スル工兵力ノ増加モ亦必要トス

一 我損害ノ情況別表第一第三ノ如シ
 二 我戦利品ノ概数別冊第三ノ如シ
 三 我戦死傷者数別表第四ノ如シ
 四 敵ノ遺棄屍体ノ概数別表第五ノ如シ